

# ことわざ

怪我の功名

け



怪我の功名  
当初は過失や災難と思われたことが、思い掛けなく好結果をもたらすことが、また、なにげなくしたことが、偶然にも好結果となること。



逆鱗

け



逆鱗  
激しく怒ること。普通、目上の人が目下の者を怒る場合に用いる。



後悔先に立たず

こ



後悔先に立たず  
既にしてしまったことは、後から悔いても、もう取り返しが付かない。



弘法も筆の誤り

こ



弘法も筆の誤り  
弘法大師のような書道の名人でも書き損じをすることがある。その道に長じた人でも時には失敗を犯すことがあるという喩え。



転ばぬ先の杖

こ



転ばぬ先の杖  
避けて転ぶ前にあらかじめ杖を突くという意味で、事前に注意していれば失敗しないであろうということ。



策士策に溺れる

さ



策士策に溺れる  
はかりごと(もくろみ)の上手な人ははかりごとを使いすぎることで、かえって失敗してしまふことになる。



猿も木から落ちる

さ



猿も木から落ちる  
その道に精通するプロであっても、時には失敗をしまうこともあるという例え。



去る者は追わず

さ



去る者は追わず  
自分の元から離れ去っていく人は、その人の意志に任せ、無理に引き止めない、自由意志を尊重することがかえって上手くいくことも多いことから来る言葉。

